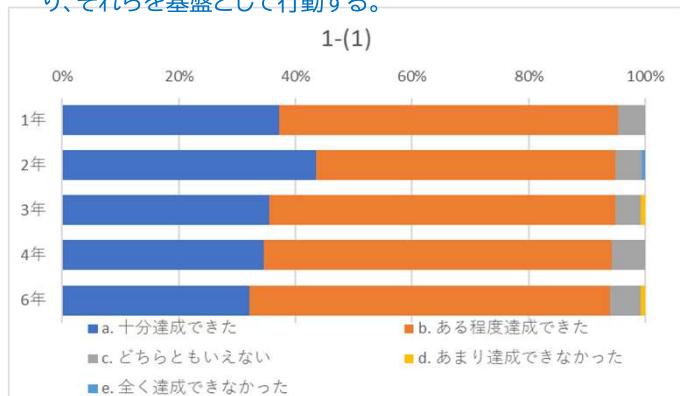


令和4～6年度 学修成果の自己評価の比較

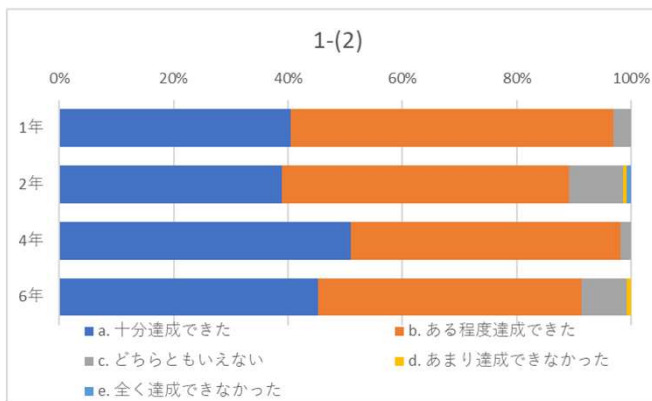
1. 社会人および医師としての基本姿勢
2. 基盤となる医学知識とその応用
3. 診療技能・患者ケア

令和4年度

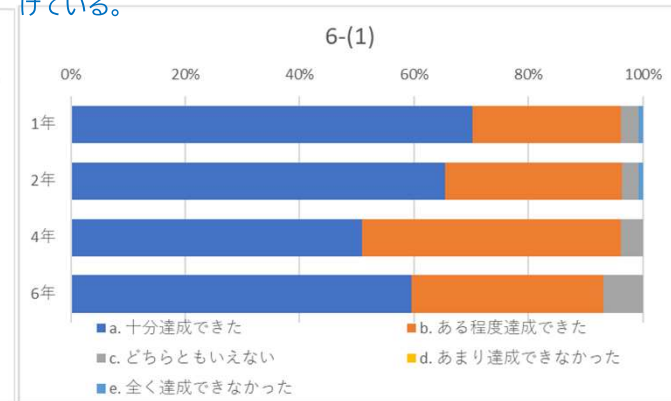
医療専門職としての倫理観、責任感、熱意、誠実さを備えており、それらを基盤として行動する。



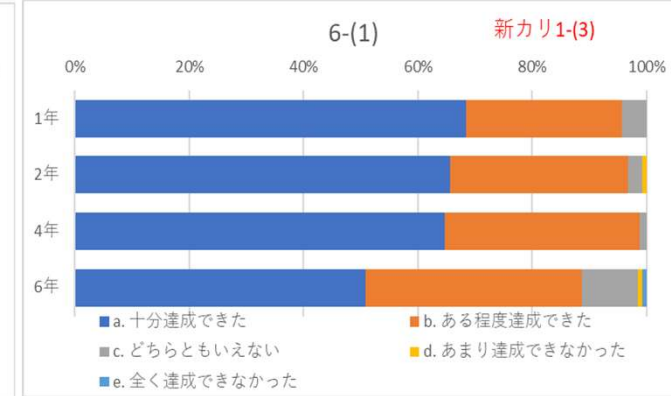
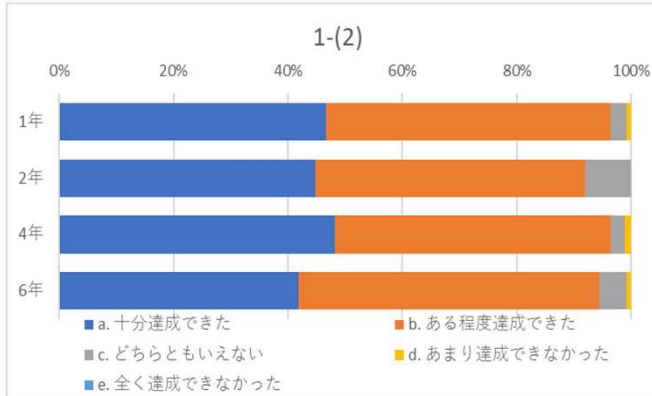
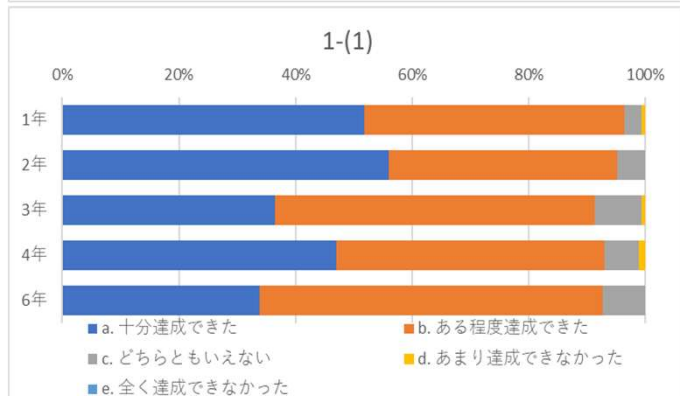
患者を中心に考え、患者や社会のために行動する。



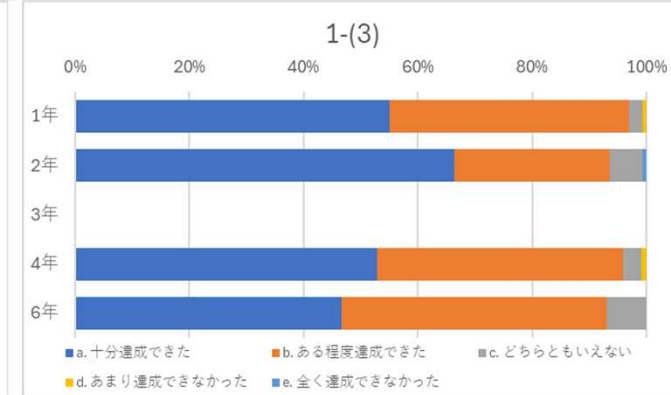
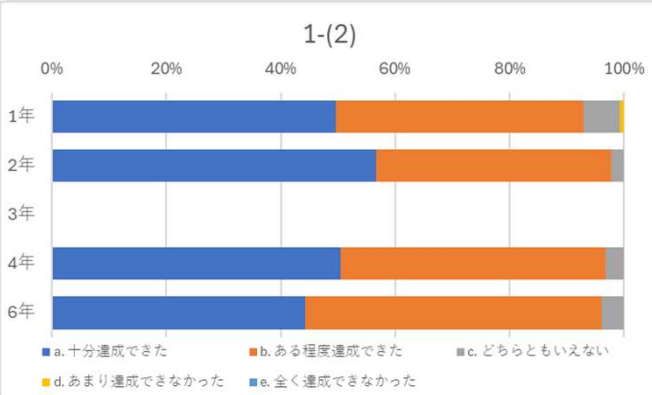
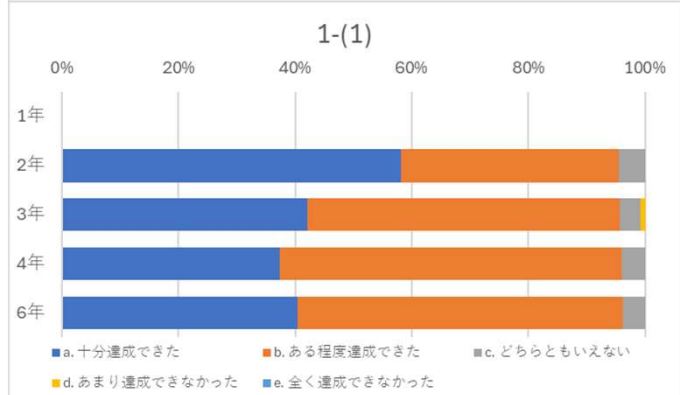
身だしなみ、言葉遣い、態度など、他者と接する基本姿勢を身につけている。



令和5年度

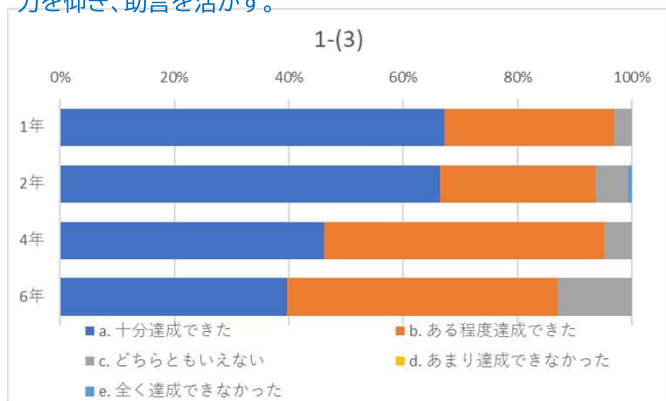


令和6年度

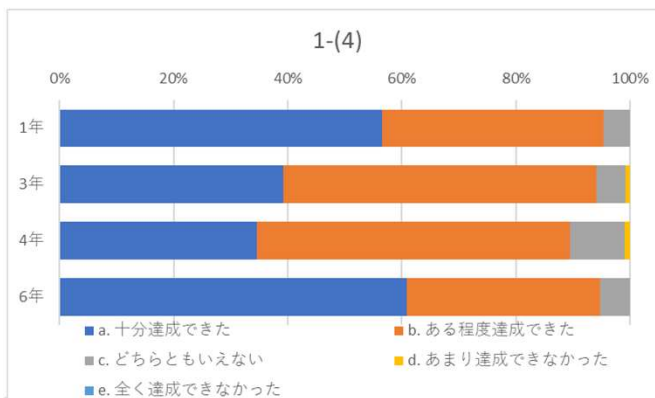


令和4年度

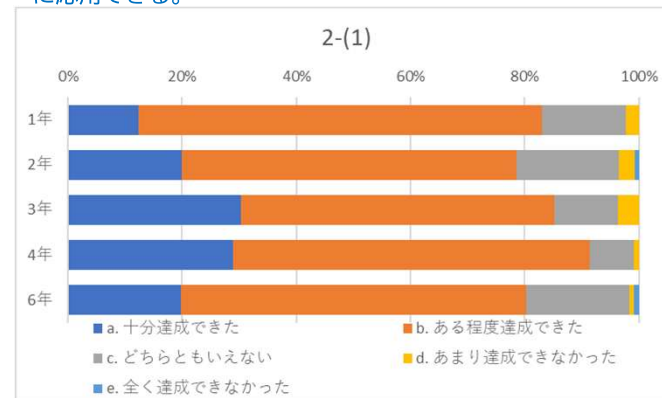
自身の裁量権と能力・技術の限界をわきまえ、他者からの協力を仰ぎ、助言を活かす。



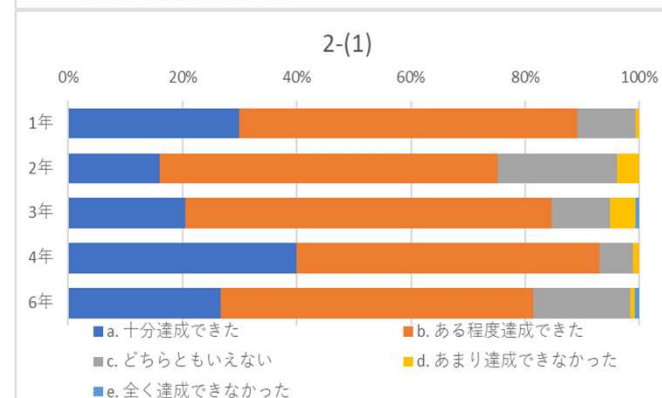
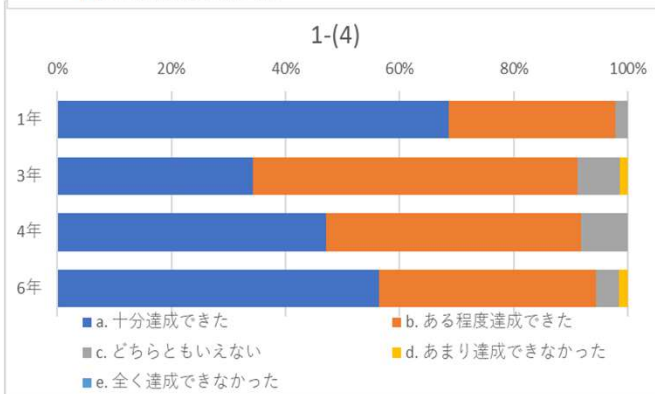
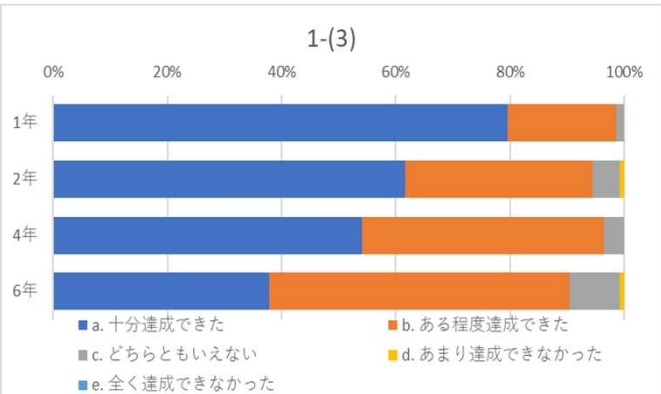
法規定や社会・組織の規則・規範を遵守し、行動する。



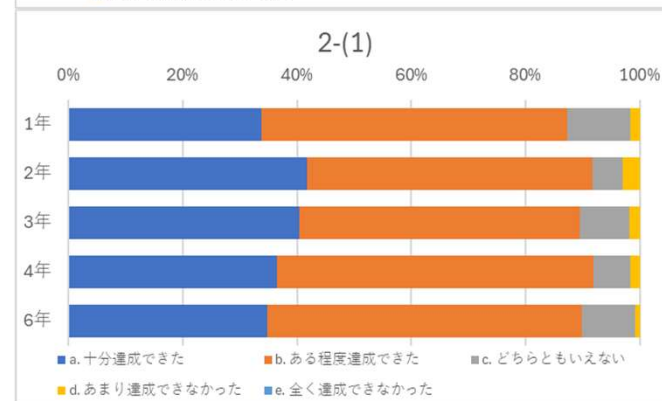
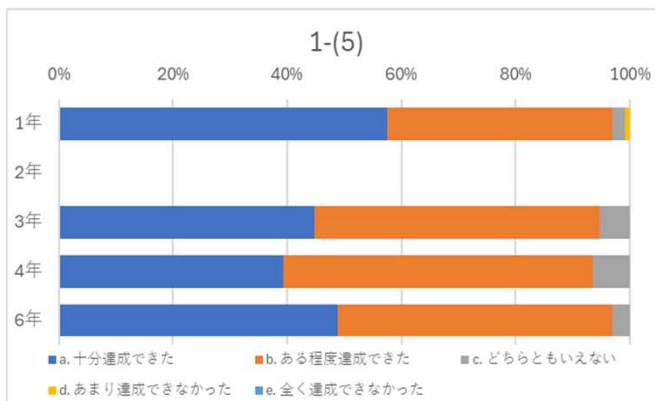
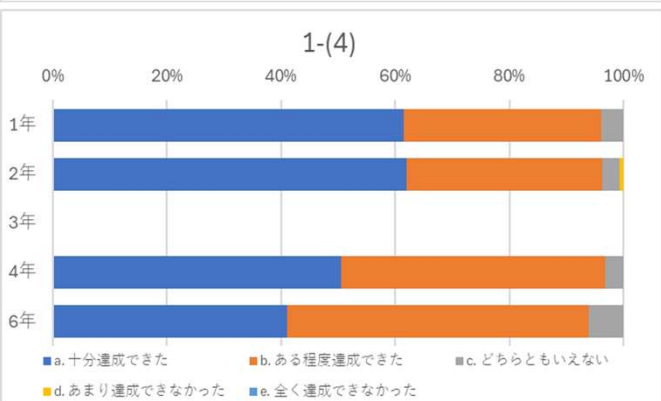
人体の正常構造と機能を理解し、知識を統合して臨床医学に応用できる。



令和5年度

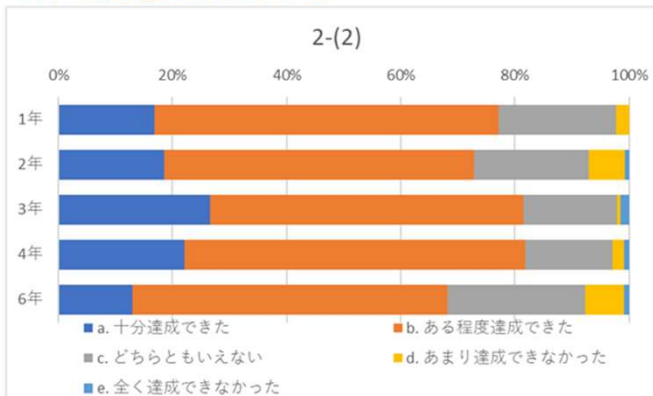


令和6年度

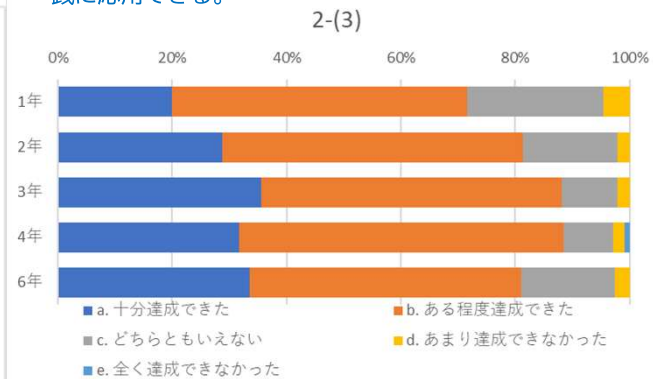


令和4年度

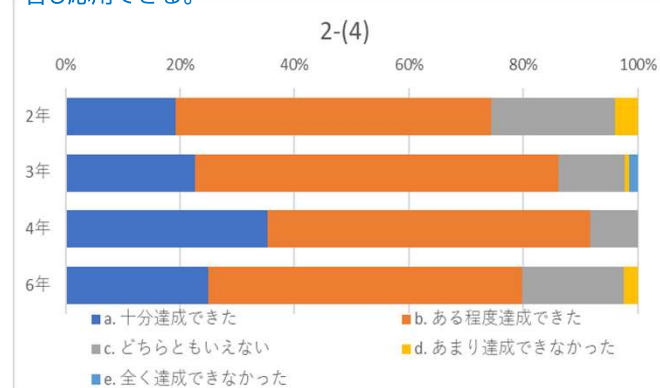
個体の反応を臓器・細胞・分子のレベルで理解し、知識を統合して臨床医学に応用できる。



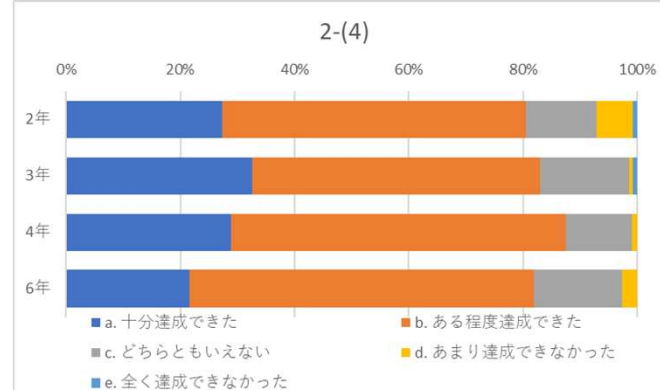
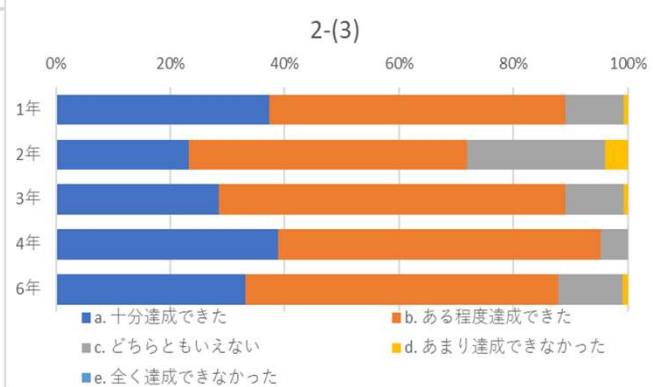
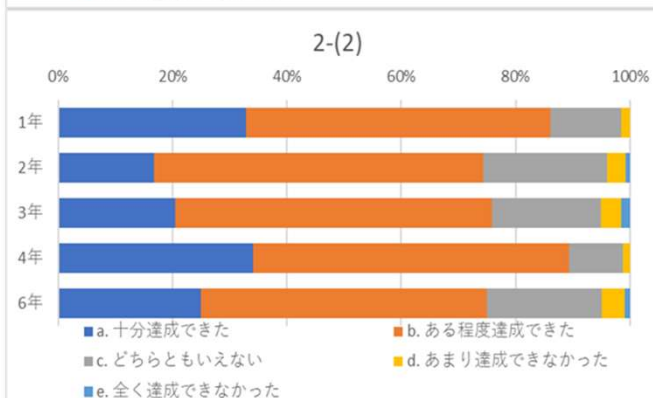
人の行動と心理について正しい知識を有し、臨床実践に応用できる。



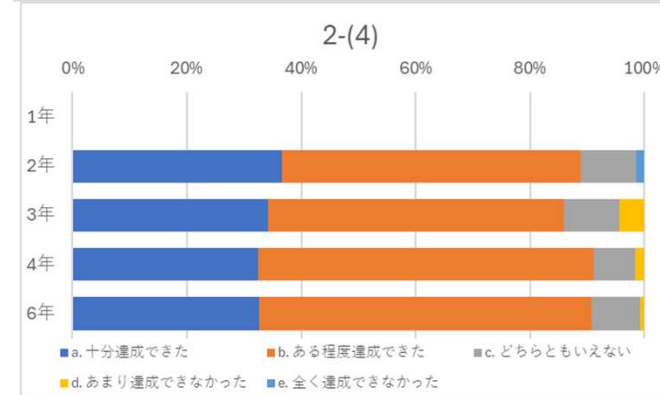
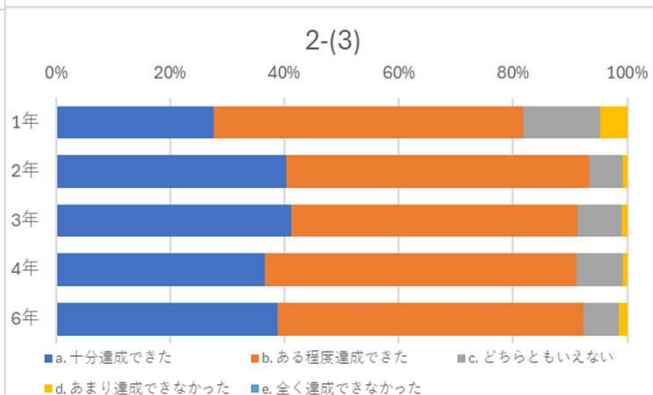
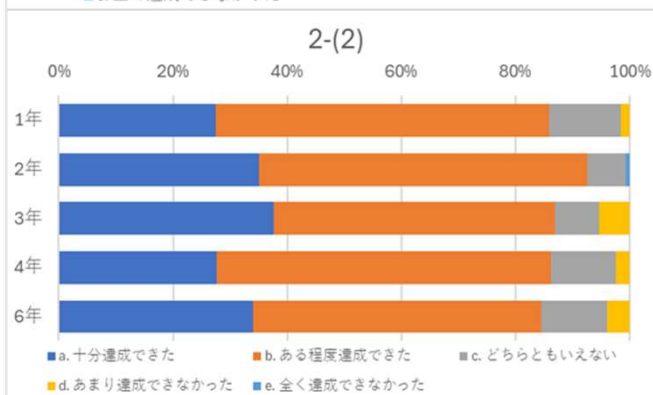
疾患における病因、病態、診断、治療について、知識を統合し応用できる。



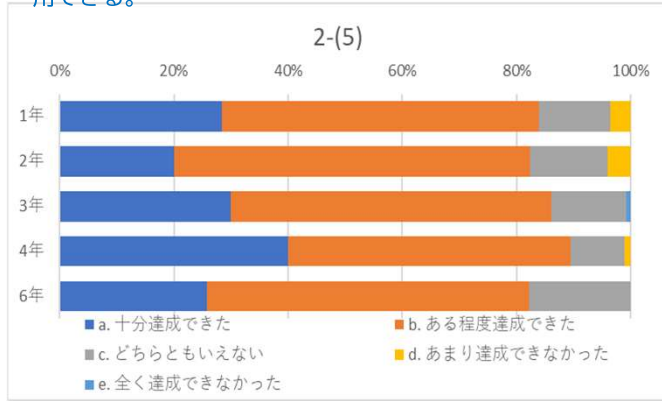
令和5年度



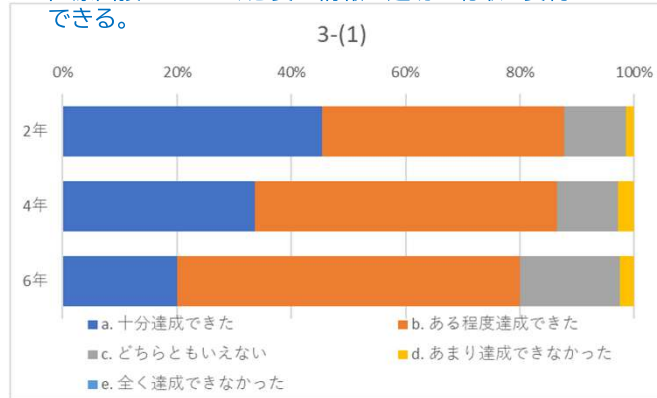
令和6年度



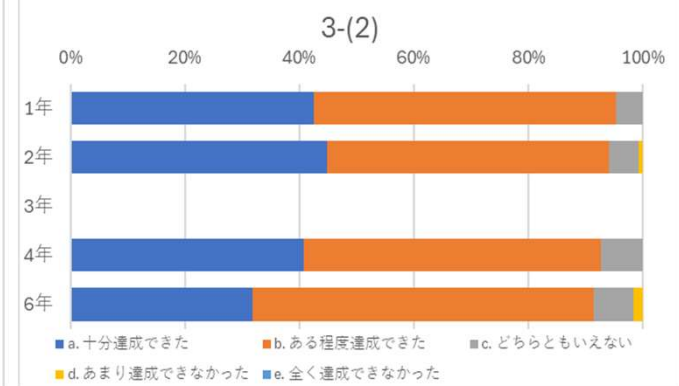
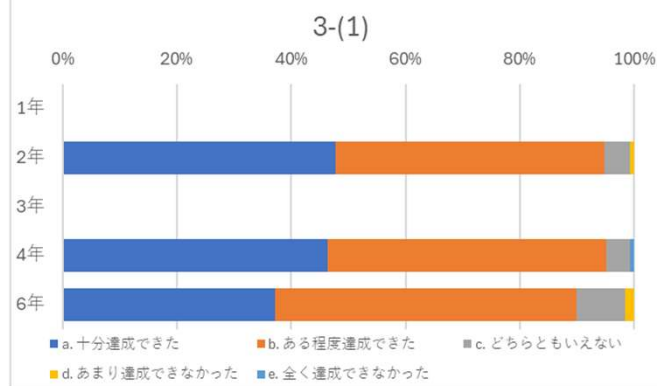
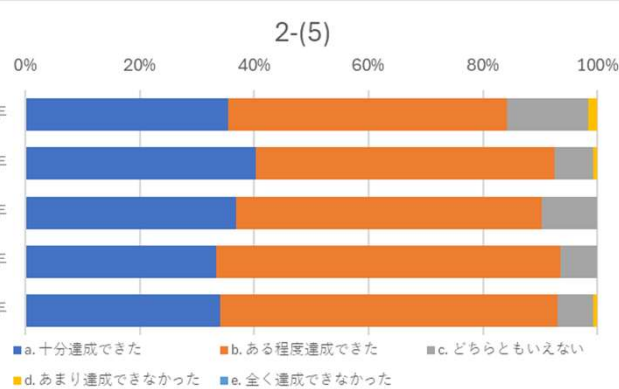
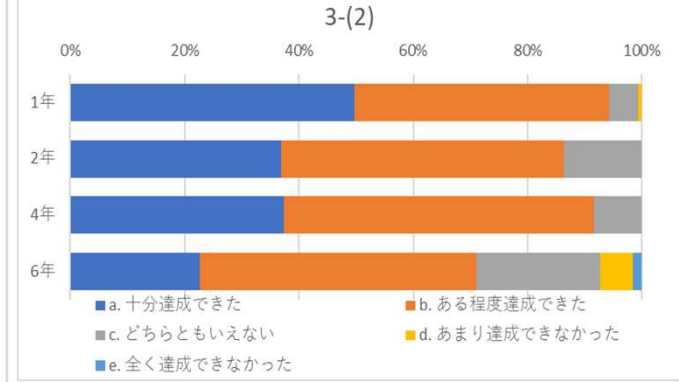
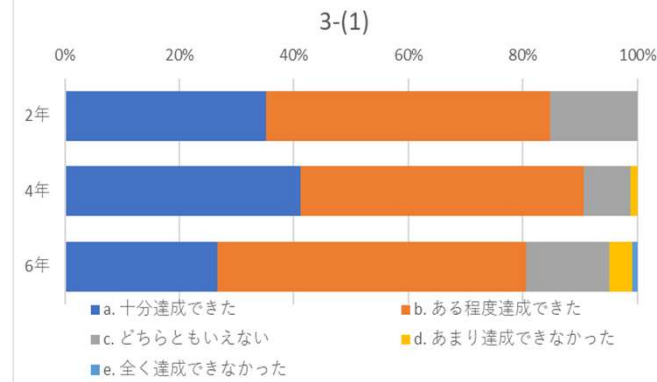
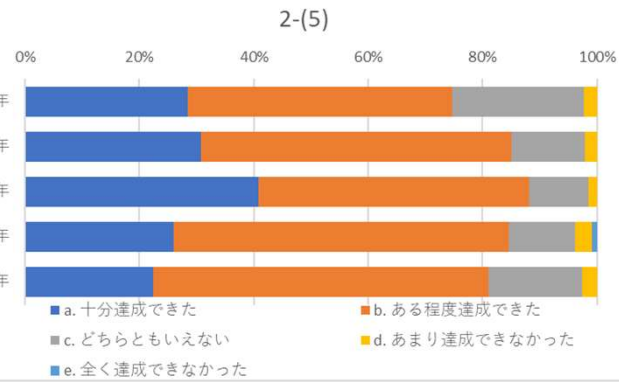
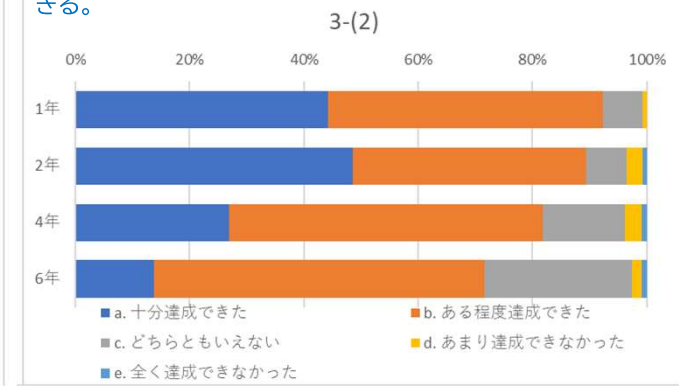
人の成長、発達、加齢、老化、死について、知識を統合し応用できる。



医療面接において、必要な情報を適切に聴取し要約できる。



基本的な診療手技を適切に用いて身体診察を行うことができる。



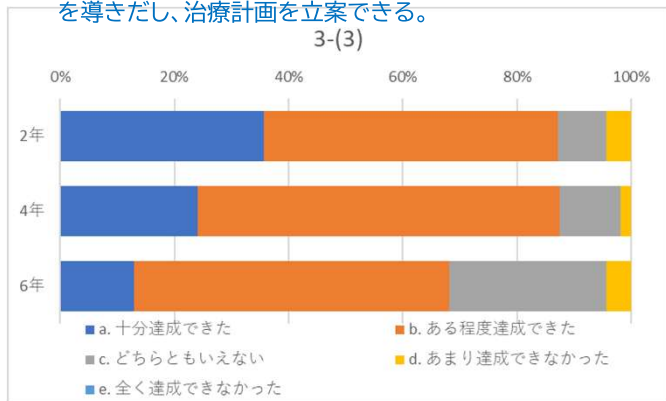
令和4年度

令和5年度

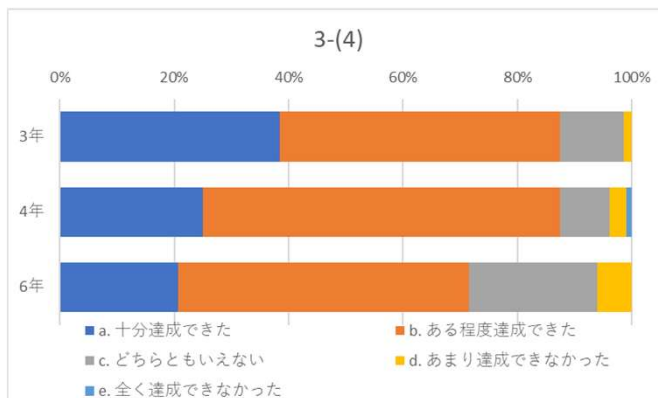
令和6年度

令和4年度

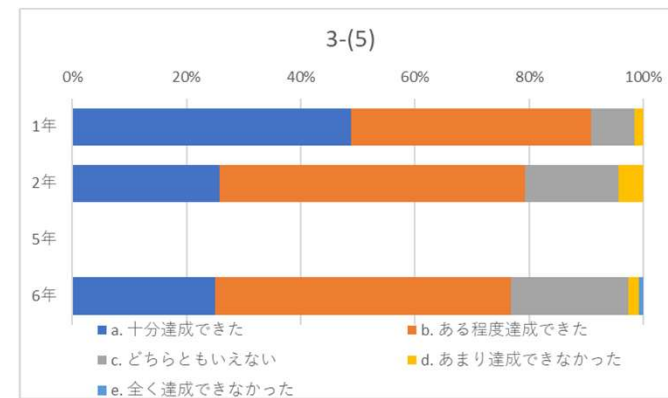
根拠に基づく医療(EBM)に則って症候、病態から疾患を導きだし、治療計画を立案できる。



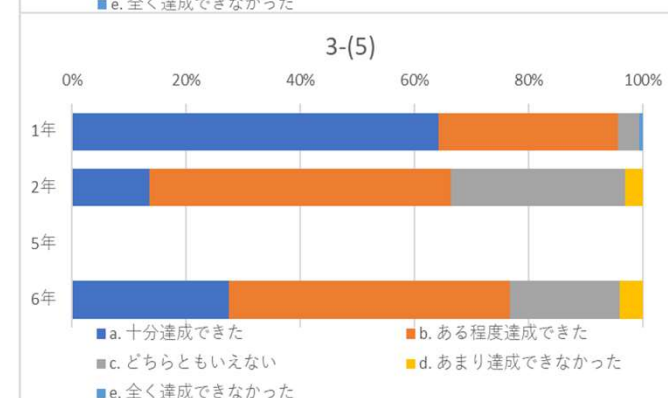
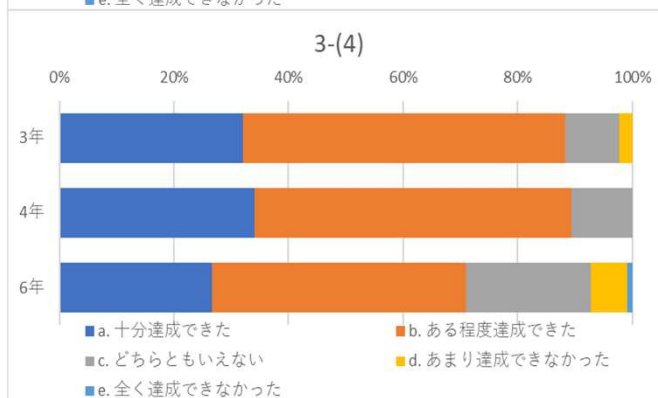
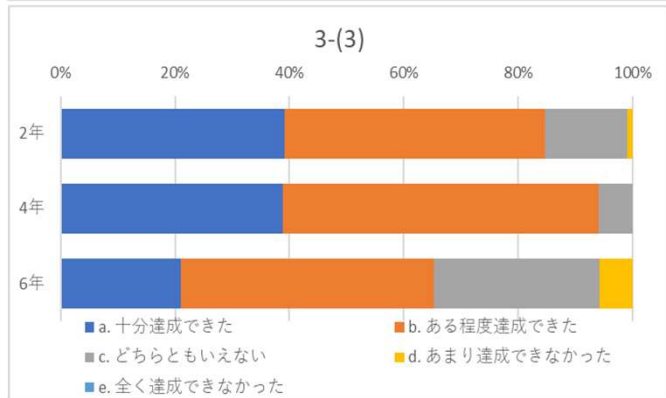
問題志向型医療記録形式(POMR)で診療録を作成できる。



診療情報を適切に要約し、状況に応じて提示できる。



令和5年度



令和6年度

